

**平成 29 年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価**

**平成 30 年 9 月
福岡市総合図書館**

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
青沼 美撫子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)
岡野 秀之	公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長
梶田 由美子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
高橋 昇 (委員長)	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
張 浩子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標				
成果指標	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【平成30年度:85%】	80.1%	84.2% (+4.1)	85.9% (+1.7)	87.2% (+1.3)
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした ※()は前年度からの増減				

目標数値				
目標数値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①入館者数 【平成30年度:5,500千人】	-	-	-	-
②個人貸出冊数 【平成30年度:5,200千冊】	4,378,475冊	4,311,916冊 [-66,559] [-1.5%]	4,274,103冊 [-37,813] [-0.9%]	4,167,046冊 [-107,057] [-2.5%]
③貸出利用者数 【平成30年度:1,400千人】	1,227,351人	1,217,508人 [-9,843] [-0.8%]	1,233,797人 [+16,289] [+1.3%]	1,211,296人 [-22,501] [-1.8%]
④新規登録者数 【平成30年度: 45千人】	25,971人	25,337人 [-634] [-2.4%]	33,846人 [+8,509] [+33.6%]	26,207人 [-7,639] [-22.6%]
※[]は前年度からの増減				

内部評価	事業別評価	
<p>〈評価〉</p> <p>成果指標は、利用者満足度調査3項目のうち最も低い「開館時間および休館日」についての87.2%を、これまでと同様に「図書館利用者における図書館サービスの満足度」としたが、前年度から1.3ポイント上がっている。</p> <p>目標数値については、すべての項目で減少している。平成28年度は東図書館が移転開館し貸出利用者数、新規登録者数が増えたと推測される。</p> <p>〈対応〉</p> <p>平成29年度は、新ビジョン前期5年間の事業計画の残り2カ年度の時期となるため、目指す図書館像の実現に向けて必要な取り組みに努めていく。</p>	A評価	17事業
	B評価	11事業
	C評価	2事業
	D評価	—

外部評価

- ・新ビジョンに即して事業が着実に進められているが、施設のリニューアルやWi-Fi環境の整備、デジタル化（電子書籍、デジタルデータ化アーカイブス）などについては実施が遅れている感があり、引き続き早急な検討と対応を期待する。
- ・小中学生など、子どものころから図書館と接する機会を創出することが求められるが、その取り組みを深化させるため、小中学校や留守家庭子ども会、子ども会などとの更なる連携強化が求められる。
- ・新しいアイデアや取り組みが実現するよう指定管理者などとの深い関係性の構築を期待する。
- ・「福岡市総合図書館新ビジョン」について、福岡市職員でしか内部評価をおこなっていない事は誠に不十分である。利用者と直接あう機会が豊富にある分館で勤務する方まで含めた嘱託職員にも内部評価に加わってもらいたいと考える。
- ・充実した図書資料と専門性の高い人材は、図書館にとって核となるもの。平成30年度の予算において、資料費が増額となったことは評価したい。単年度に限らず、継続してしっかりとした予算の獲得を切に願う。
- ・個々の事業のうち、なかなか進展しないものもあり残念に思う。一方着実に積み上げられてきているものもあり、それらはいずれ図書館、市民の財産となっていこう。「図書館は成長する有機体である」と言われるが、今後後期の計画を立てるにあたり、図書館ならではの専門的な視点を大切に計画を立て遂行してほしい。そして、本の魅力が伝わる”力のある図書館”となっていくことを願う。
- ・事業全体を通してきめ細かな取り組みをしていると感じた。
- ・中学生の図書離れについて、何か良い取り組みを考えていければと思う。
- ・今後、課題にどう取り組むかを、事業別に検討してほしい。予算の都合でできないではなく視点を変えて市政アンケート等でアイデアを集めて欲しい。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	17	A評価	9	A評価	17	A評価	10	A評価	16
B評価	9	B評価	18	B評価	9	B評価	17	B評価	11
C評価	4	C評価	3	C評価	4	C評価	3	C評価	3
D評価	0								

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

○福岡市総合図書館新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設
2			貸出・返却拠点等の新設
3		利用時間の拡大	開館時間、休館日の見直し
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実
5		快適な空間づくり	やすらぎと交流の場づくり
6			館内レイアウトの変更
7	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実
8			レファレンス(相談)サービスの充実
9			情報提供の充実
10			ホームページの複写サービス
11			無線LAN環境の整備
12			地域読書活動への支援
13		公民館等の読書活動への支援	
14		市関連施設の図書室 の相互協力	議会図書室との連携
15			市施設の図書室との相互協力
16		子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及
17	新一年生への貸出カードの付与		
18	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への広報活動の強化		
19	読書活動ボランティア講座の強化		
20	学校図書館への支援		学校図書館支援センターの設置
21	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の強化	図書館外施設でのアジア映画上映事業
22			広報活動の強化
23		文書資料部門の強化	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化
24			古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化
25			福岡市文学館の利用拡大
26	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法(民間活力の導入)の検討
27			図書館ボランティアとの共働の推進
28			職員の育成及び技術向上
29			施設の有効活用などによる財源確保
30		情報発信の推進	情報発信の推進

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	地域交流センター等の整備検討に併せて、新たな分館の新設を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議				
平成 29 年度					
計画	早良地域交流センター施設全体の設計・建設は、平成33年度の施設供用開始に向けて、PFI方式により事業化されることから、所管する市民局と連携して、要求水準書の作成を進めていく。 基本的なコンセプト案については、必要に応じて修正を行う。				
取組状況	早良地域交流センター整備事業の実施方針及び要求水準書を平成29年12月に公表し、図書館分館の開館準備業務及び運営業務に関しては、平成28年6月から指定管理制度を導入している東図書館の成果や課題等の検証を進め、引き続き民間事業者の活用について検討していく必要があるため、PFI方式による同センター整備事業に包括せず、別途検討することとした。				
平成 30 年度					
計画	平成33年度の施設供用開始に向けて、図書館分館の開館準備業務及び運営業務に関する民間事業者の活用について引き続き検討していく。				
内 部 評 価					
早良地域交流センター整備事業の推進にあたっては、運営していくうえでの意見等をまとめ要求水準書に反映させるとともに、その公表などを予定どおり実施しているためA評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成33年度の開館にむけて、引き続き多方面からの意見やアイデアを募りつつ、要求水準書にしっかりと反映して進めてほしい。 ・早良地域交流センターの設置される地域は図書館サービスを十分に享受できておらず、新ビジョン作成前の「これからの図書館のあり方について」では、他地域より規模の大きな図書館と移動図書館の活用が必要であるとの意見で一致していた。 ・分館の新設に、今の分館の要望が吸い上げられて進んでいっているのかが見えなかった。 ・図書館の民間事業者の活用については、全国の動向も見ながら丁寧な検証、検討をお願いしたい。 ・住民にとって身近なところに造られる図書館である。地域の要望なども取り入れながら、住民に愛される図書館をつくってほしい。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	図書館サービスが行き届かない地域に対して、交通の便の良い公共施設などに図書の貸出・返却拠点の新設を推進し、図書館利用者の利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議				
	◇設置		◇設置	◇設置	
平成 29 年度					
計画	引き続き、新たな貸出・返却拠点等の新設について、随時検討していく。				
取組状況	平成29年10月1日より福岡市科学館に新たな貸出・返却拠点を設置し、業務を開始した。 また、返却拠点として西鉄薬院駅ビル内に設置していた「ときめきショップありがた屋」については、薬院駅改修工事のため平成29年10月31日をもって一旦閉鎖したが、平成30年7月2日より同場所で「ときめきショップトライ」として再開した。 新たな貸出・返却拠点を設置した場合、物流体制全体の見直しが必要となり、物流経費の増額が見込めなかったため見送りとなった。				
平成 30 年度					
計画	引き続き、新たな貸出・返却拠点等の新設について、随時検討していく。				
内 部 評 価					
新たな貸出・返却拠点を福岡市科学館に設置したが、物流経費等が見込めず他の施設における設置検討が進められなかったためB評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市科学館のような集客施設での貸出・返却拠点の新設は高く評価できる。人員配置や物流を考えると、現地作業の少ない返却拠点のみの拡充を先行させる方法もあるのではないかと感じる。 ・貸出拠点の設置が、この計画が立てられる前から一歩も進んでいない。 ・計画性も想像力も無かったとは思えないが、結果が出てない。 ・貸出、返却拠点の新設は、長年の持ち越し課題である。これからの高齢化社会に対応できるよう、早急に取り組んで欲しい。 					A : 0 B : 2 C : 3 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の拡大	
内容	開館時間, 休館日の見直し			
事業計画	休館日及び開館時間の見直しを行い, 図書館を利用できる時間を拡大することにより, 図書館利用者の利便性の向上を図ります。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	【休館日】 検討(段階的に実施) →			
	◇全館		◇東	
	【開館時間】 検討(段階的に実施) →			
		◇総合, 東		
平成29年度				
計画	総合図書館においては, 利用状況のデータ分析を進め, 成果の検証を進めていく。 また福岡市の図書館全体に関しては, 市政アンケートの活用等により市民ニーズの把握を行い, 継続的に検討を進めていく。			
取組状況	平成29年8月、無作為に抽出した市民を対象とした市政アンケートを実施した。 「福岡市の図書館がどのような図書館であれば, いま以上に利用したいと思いますか。」という問いに対して、「本の種類や数が充実している」45.0%、「雰囲気や居心地がよい」41.1%などが上位で、「夜遅くまで開館している」13.2%、「朝早くから開館している」4.8%、「月曜日も開館している」4.6%、という回答状況であった。 東図書館は, 移転開館した平成28年6月4日から開館日・開館時間の拡大を実施した。			
平成30年度				
計画	総合図書館及び分館の開館時間, 休館日の見直しについて, これまでの検討結果及び東図書館での実施状況, 成果を検証し, 継続的に検討をすすめていく。			
内 部 評 価				
市民アンケート調査を予定どおり実施し, 利用者の意見や要望など, 開館日や利用時間に関する検討材料を収集している段階のためB評価とする。				B
外 部 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにも開館時間の延長を望む声が多くみられるため, コスト(特に人件費)を大きく増加させないような, シフト制などでできるところからでも早期に対応すべき。また, 市内全館一斉休館ではなく, 市内の相互連携で交互開館をすることを検討してはどうか。 ・すべての分館を均一にした開館時間ではなく, 交通量や乗り換え駅などの条件ごとに柔軟に変化させて決意実行して欲しい。 ・努力はしているが, 変化がない。 ・どこか分館が手を挙げて総合図書館, 東図書館に続いてほしい。 ・平成30年5月に行われた図書館利用者アンケートでは, 開館時間及び休館日の見直しについての要望が多いので, 早急な検討をお願いする。また, 図書館の通常業務等への影響の有無についても, 丁寧な検証を望む。 				A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	成人を対象とした読書会等を実施し、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画	大人向けイベントの実施		
平成 29 年 度					
計画	総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人を対象とした読書イベントを今後も継続して企画・実施する。				
取組状況	<p>総合図書館及び分館において「図書館NEXT」を共通テーマに、また、それぞれの部門でサブテーマを設定し、10月の「図書館マンス」において展示や様々なイベントを実施した。</p> <p>「こどもの読書週間」においては、こどもの日特別おはなし会を例年通り開催した。</p> <p>また、大人を対象とした読書イベントとして、中央図書館で読書会を継続するとともに、総合図書館や東図書館におけるビブリオバトルや講演会の実施、福岡おはなしの会を中心とした「大人向けのストーリーテリング」や新たにポップ製作、初心者向けの落語会を実施した。</p> <p>読書行事等イベント(総合・分館) 984回 23,828人 展示(総合) 72回 【図書館要覧より】</p>				
平成 30 年 度					
計画	総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。				
内 部 評 価					
総合図書館本館及び各分館において、「図書館マンス」を始め機会を捉えて様々なイベントを実施することができたのでA評価とする。					A
外 部 評 価					
<p>・図書館の利用促進に向けて、年間1,000回近くのイベントを行っている点は高く評価できる。今後とも多様なニーズへの対応と、図書館利用の拡大、本とのふれあいの機会の拡大につながるイベントを工夫して継続してほしい。</p> <p>・着実に進めている。</p> <p>・折角のイベントが周知されないのは惜しい。</p> <p>・分館も含め様々な活動が少しずつ定着してきているように思う。読書人口の拡大につながることを期待している。また一方でイベントに追われることなく、通常の図書業務こそ丁寧になされるよう配慮もお願いしたい。</p>					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	やすらぎと交流の場づくり				
事業計画	誰もが気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、潤いややすらぎの場となるよう、エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、快適な空間づくりを行います。 また、広場等を活用したイベントを実施していきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討(段階的に実施)			
		◇エントランス, 広場			
平成29年度					
計画	指定管理者と連携して、より充実したイベントを企画実施していくとともに、広報にも努めていく。				
取組状況	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用して、節句祭や納涼祭、クリスマスイベントなど季節に応じたイベントや大人向けのビブリオバトル、子供向けのかるた取り大会など、合計22件の企画事業を実施し、そのうち13件については、テレビや新聞などに取り上げられた。 八女市との共催事業「茶のくに八女フェスタ」開催時にお茶に関する本の企画展示を閲覧室内で実施し、「絵本の読み聞かせ講座」開催時には会場内に推薦絵本の展示を行うなど、イベントと図書利用促進の連動企画にも取り組んだ。 また、エントランスホールや総合案内受付における配布物の設置・配架方法を改善し、同所の美化に努めた。				
平成30年度					
計画	指定管理者と連携して、快適な空間づくりや来館者のニーズに合ったイベントを企画実施していくとともに、イベントと連動した企画展示などの図書利用促進に向けた取り組みを継続していく。				
内 部 評 価					
平成29年12月に指定管理者が総合図書館の来館者300名を対象に実施した利用者アンケートでは、イベントの開催について95.1%が満足している、と答えており、A評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに進んでいる。 ・広報に努めて、高齢者や障がい者も気楽に来て楽しめるような、他では見られないイベント展示をしてほしい。 ・図書利用につながる取り組みを今後も企画、実施してほしい。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	館内レイアウトの変更				
事業計画	文学資料エリアのリニューアル、ビデオライブラリーの見直し及びカフェスペースの設置などを行い、図書館の魅力の拡大を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
				◇文学資料エリア, ビデオライブラリー, カフェスペース	
平成29年度					
計画	築20年を経過した施設の老朽化により、各種設備などの改修の必要が生じていることから設備改修を優先し、館内レイアウトの見直しについては、利用者のニーズも勘案し、福岡市総合図書館新ビジョンの後期5年間(平成31年度～平成35年度)の事業計画の中で再度検討を進めていく。				
取組状況	平成30年3月、市有施設の資産マネジメント(長寿命化)計画に基づき、総合図書館の今後50年間の長期保全計画を策定し、館内レイアウトの見直しについては、今後同計画を踏まえ、検討を行うこととする。				
平成30年度					
計画	館内レイアウトの見直しについては、福岡市総合図書館新ビジョンの後期5年間(2019年度～2023年度)の事業計画策定の中で再度検討を進めていく。				
内部評価					
館内レイアウトの見直しについては、長期保全計画を踏まえ、福岡市総合図書館新ビジョンの後期5年間(2019年度～2023年度)の事業計画の中で見直すこととするため、C評価とする。					C
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きビジョンに促した計画づくりと整備を進めてほしい。 ・滞在型図書館、利用者同士の交流スペースも実現すべきである。 ・図書館という専門性を見失うことのない館内レイアウトを期待している。 					A : 0 B : 1 C : 4 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、図書資料の収集方針の見直しを行い、計画的な資料収集に努めるとともに、電子書籍の取り扱いについて検討します。 分館においては、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集を行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	総合収集方針改定		分館収集方針作	分館収集方針改定・更新	
平成 29 年 度					
計画	電子書籍に関しては、その導入に必要な図書館業務システムの改修について、「情報システム審査委員会」と継続して協議を進めていく。 分館における資料収集方針については、年度毎に更新することとしており、平成29年度については5月末までに見直しを行う。				
取組状況	電子書籍に関しては、図書館での利用が認められているジャンルやタイトルが極めて限定的であるため、現時点での導入は見送っている。分館における資料収集方針については、平成29年5月に各分館別の収集方針を改定し、選書を行った。				
平成 30 年 度					
計画	電子書籍の導入に関しては、業界の動向を踏まえて、検討を継続していく。 分館における資料収集方針については、年度毎に更新することとしており、平成30年度については5月末までに見直しを行う。				
内 部 評 価					
平成29年度に行うべき作業は当初の計画どおり実施しており、電子書籍の導入に関しては、様々な観点より検討を継続しているため、A評価とする					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍の導入は必要だが、検討すべきことの多いテーマであり、ぜひ、最適な時期を早期に見出し、導入を進めてほしい。 ・電子書籍の導入は、今後の推移を見守る必要がある。 ・他都市の動向なども見ながら、丁寧な検討を続けてほしい。 ・資料収集は図書館の核をつくるものであり、充実したものとなるべく適切な予算の確保に取り組むことを期待する。 					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

平成28年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	電子メールによるレファレンスサービスを実施し、利用者への図書館サービスの充実と利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討				
	システム対応	電子メールによるレファレンスサービス			
平成 29 年 度					
計画	引き続き、レファレンス(相談)サービスの充実を図っていく。				
取組状況	平成28年8月より、電子メールによるレファレンスサービスを開始。図書館HPのトップページにある「調査・相談(レファレンス)」の「電子メールでのご相談」コーナーから問い合わせができる。利用実績は、図書資料関連では、35件(28年度)→46件(29年度)、文書資料関連では、16件(28年度)→20件(29年度)であった。				
平成 30 年 度					
計画	引き続き、電子メールによるレファレンス(相談)サービスの充実を図っていく。				
内 部 評 価					
28年度に比較すると利用実績は増えているが、前年度は期間が短く明確に伸びているとは言えないのでB評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスの充実は、図書館の最大の魅力のひとつである。電子メールでの問い合わせに対して、最終的には図書館との関係性がしっかりと構築できるような複合的かつ丁寧な対応(メール、電話、来館説明など)ができるよう、量よりも質の対応を重視すべきである。 ・利用者への周知を計るべきである。 ・経験上、レファレンスサービスは良かった。 ・広報活動に、より一層の工夫をお願いしたい。充実したレファレンスサービスが拡がることを期待している。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	情報提供の充実				
事業計画	ビジネス支援や子育て支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示等の情報提供などを行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	計画	ビジネス支援等の情報提供			
平成29年度					
計画	ビジネス支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図り、引き続き図書館資料を活用した情報提供の充実を図る。 ビジネス支援及び医療情報支援について継続実施するとともに、さらに暮らしに密着した情報等について支援を検討していく。				
取組状況	<p>○ビジネス支援として、毎月第2・第4日曜日に中小企業診断士による起業・経営相談会を開催した。 年間開催数 69回(3回/日×23日) 19件申込、起業相談が約9割 相談会開催については11月15日号の市政だよりで広報し、図書館ホームページでは毎月周知を図った。</p> <p>○医療情報の提供として、シリーズ化した「九州がんセンター講演会(2回)」を開催した。 ①H29. 6.11(日):乳がんについて 51人参加 ②H29.10.29(日):肺がんについて 40人参加</p> <p>○子育て支援として、「おはしとえんぴつの正しい持ち方講座(3回)」を開催した。 ①H29. 8.10(木) 13:30～ 28人参加 ② 同日 15:30～ 25人参加 ③H30. 2.18(日) 13:30～ 38人参加</p> <p>○関係部局と連携し、相談窓口や市の事業、新たな制度等の情報提供を行った。 情報提供を行った展示件数 63件</p>				
平成30年度					
計画	ビジネス支援及び医療情報支援について、関係機関と連携し継続実施する。 暮らしに密着した情報等について、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図り、引き続き図書館資料を活用した情報提供の充実を図る。				
内 部 評 価					
計画どおり実施していることから、A評価とする。					A
外 部 評 価					
<p>・関係部局の取り組み、並びに外部の関係機関との「相互乗り入れ」や「協業」をしながら、引き続き工夫して取り組んでほしい。</p> <p>・他の機関と協力して、さらなる充実を求める。</p> <p>・努力が感じられる。</p> <p>・様々な支援の取り組みが継続されていることを評価する。今後も市民のニーズを掴み、図書館ならではの支援の充実を期待している。</p>					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	ホームページの複写サービス				
事業計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、同資料を収集し、複写サービスを提供します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	試行	ホームページ等の複写サービス			
平成 29 年 度					
計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、引き続き複写サービスを提供する。				
取組状況	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、複写サービスの提供を行った。 平成29年度受付件数 22件(3月28日現在)				
平成 30 年 度					
計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、引き続き複写サービスを提供する。				
内 部 評 価					
計画どおり実施していることから、A評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や市民へのPRを行う必要がある。 ・複写サービスの提供の継続を評価する。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	無線LAN環境の整備				
事業計画	利用者の調査・研究の補助として、個人持ち込みの端末機器(ノートパソコン、タブレット、スマートフォン等)が利用できるよう、公衆無線LAN「Fukuoka City Wi-Fi」によるインターネット環境を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。 なお、分館については、施設管理者と検討を進めます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議				
	◇総合		◇分館 (1館)	◇分館 (3館)	◇分館 (3館)
平成 29 年 度					
計画	各分館が入居する市民センターなどの施設を所管している市民局と、引き続き無線LANの設置について協議を行っていく。				
取組状況	既存の市民センター・地域交流センターへの『Fukuoka City Wi-Fi』の導入が進んでおらず、平成29年度については、上記サービスを新規で開始した分館はなかった。				
平成 30 年 度					
計画	各分館が入居する市民センターなどの施設を所管している市民局と、引き続き無線LANの設置について協議を行っていく。				
内 部 評 価					
事業計画どおりの事業実施ができなかったため、C評価とする。					C
外 部 評 価					
・Wi-Fiの導入は必須である。「Fukuoka city wi-fi」が、図書館のある市民センターや地域交流センターに優先的に配備されるよう強く要望すべきである。 ・図書館独自で行うのではなく、市役所への働きかけで分館のある市民センター全体で行うように進めてほしい。 ・環境整備に向け、早急に協議を進めてほしい。平成30年度には設置されていることを望む。					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	図書館利用が困難である施設入所者等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。団体貸出先については、高齢者施設や病院などに広報活動を行い、貸出先を拡充。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討	団体貸出先の拡大			
平成29年度					
計画	平成30年度目標登録団体数の390団体に向けて拡大への取り組みを進めるとともに、配本方法等の更なる効率化に努める。				
取組状況	団体貸出の登録団体は平成29年度末時点で383団体となり、平成28年度に比較して8団体増加した。平成28年度に配本方法の効率化を実施したことで、登録団体数の増加や学校図書館支援センターの貸出の急増に伴う配本の増加にもかかわらず、年間を通じて配本計画通りに実施することができた。また、地域文庫交流会などの機会に青い鳥だよりの配布や団体貸出制度の紹介を行うなど、未登録の公民館関係者に対する広報活動を実施した。				
平成30年度					
計画	平成30年度目標登録団体数の390団体に向けて拡大への取り組みを進める。				
内部評価					
平成30年度目標登録団体数の390団体に向けて着実に登録団体数を増やしており、団体数の増加や学校図書館支援センターの配本の増加にもかかわらず、年間を通じて配本計画通り実施することができたためA評価とする。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの団体への貸出が進んでいる点は高く評価できる。今後は団体登録のある団体への利用の働きかけを進めていってほしい。特に「留守家庭子ども会」など、本にふれあえる時間と機会のある団体などへの働きかけを優先的に進めることを検討願う。 ・かなり進んでいると考える。 ・地域住民のために、サービスを受けていない公民館へのアプローチを強化してほしい。 ・団体登録の増加は喜ばしいことではあるが、それに伴い十分な図書資料の確保も引き続きお願いしたい。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	公民館等の読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、図書コーナー(室)の運営や環境整備への助言や支援等を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		協議	公民館等への支援		
平成29年度					
計画	地域における読書活動の支援は、第3次福岡市子ども読書活動推進計画において重点的に取り組むべき施策と位置付けられ、関係各課と連携して取り組みを進める。 また、留守家庭子ども会など選本に来館することが困難な団体に対する支援として、セット本以外の蔵書も利用できるように、登録団体にはホームページ上で団体部門の蔵書検索を可能にできないか検討を行う。				
取組状況	公民館への読書活動支援について生涯学習課と連携して、昨年度に引き続き地域文庫交流会を、日程や会場を参加しやすいよう工夫したうえで、生涯学習課主催の「公民館文庫活動実践報告・交流会」と併せて共同開催し、支援の拡大を図った。団体貸出における公民館の登録数は61団体となり、平成28年度より5団体増加した。				
平成30年度					
計画	地域における読書活動の支援は、第3次福岡市子ども読書活動推進計画において重点的に取り組むべき施策と位置付けられ、関係各課と連携して取り組みを進める。 また、留守家庭子ども会など選本に来館することが困難な団体に対する支援として、セット本以外の蔵書も利用できるように、登録団体に団体部門の蔵書検索を可能にできないか引き続き検討を行う。				
内 部 評 価					
公民館等の読書活動への支援について関係課と連携し、昨年に引き続き地域文庫交流会を生涯学習課と共同で開催するなど取り組みを進めたが、成果が不十分な面もあるためB評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・重要な取り組みなので、引き続き継続して取り組んでほしい。また、利用しやすい工夫も進めてほしい。 ・読書ボランティアの派遣により解決してほしい。 ・校区の公民館に新しい本が届くよう支援の手法を検討してほしい。 ・生涯学習課との連携など取り組みが進められている事は評価する。各団体それぞれの持つ問題やニーズに対して、丁寧なアプローチと支援を期待している。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	議会図書室との連携				
事業計画	議会図書室と連携し、議会における政策、立案等の調査・研究を支援します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	協議	議会図書室との連携			
平成 29 年 度					
計画	引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を実施する。				
取組状況	平成26年度から、議会図書室を通じて市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援を実施している。 市役所各所属への周知については、議会図書室と協力し、毎月、制度についての広報を実施している。 29年度の貸出は24件で38冊となっている。				
平成 30 年 度					
計画	引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を実施する。				
内 部 評 価					
議会図書室への図書資料の貸出による支援は継続したが、貸出冊数が前年を下回ったため、B評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> 議会に対する情報提供や支援は、政策立案や条例立案などの市政のレベルアップに極めて重要であり、幅広い視点や方法での積極的なアプローチを行ってほしい。 市議員、各会派さらには市役所の職員個々へのPRが必要と考える。 充実した支援となるよう工夫、検討をお願いしたい。 					A : 0 B : 4 C : 1 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力			
内容	市施設の図書室との相互協力					
事業計画	少年科学文化会館及びふくふくプラザなどとの連携, 相互協力化を検討します。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		検討, 協議			連携	
平成 29 年 度						
計画	平成29年10月に開館予定の福岡市科学館・情報ライブラリー(図書室)との連携について, 引き続き協議を進めていく。					
取組状況	平成29年10月に開館した福岡市科学館・サイエンスナビ(図書室)において, 分館を含めた総合図書館の図書資料の貸出・返却が可能となった。					
平成 30 年 度						
計画	現在連携を行っていない市施設との相互協力化を検討する。					
内 部 評 価						
少年科学文化会館で行っていた貸出・返却拠点としての機能を、新たに開館した福岡市科学館でも引き継いで実施したため、A評価とする。					A	
外 部 評 価						
<ul style="list-style-type: none"> ・より連携が進むように, システム統合(データ統合)に関しては引き続き検討してほしい。 ・さらなる協力を継続してほしい。 ・資料の貸出・返却拠点としての協力関係に終わらず, お互いの専門的な資料・情報等の相互協力も検討できないだろうか。また市の他施設との連携についても, 幅広く検討してほしい。(例: あいくる, アジア美術館, あすみんなど) 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0	

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書目録の配布				
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	幼児用 作成	◇配布 【モデル児童図書リスト】			
		検討, 協議	H28版 作成	◇配布 H29版 作成	◇配布
					H30版 作成
平成 29 年 度					
計画	モデル児童図書リストを関係機関(保育園, 小学校, 公民館等)に配付し, 掲載図書を展示, 貸出を行う。また, おはなし会等の催しにおいて掲載図書を紹介し, リストの活用や貸出を促す。				
取組状況	見直しを行ったモデル児童図書リストの配付(約2,800部)や, 従来のモデル児童図書目録掲載図書に加え, リスト掲載図書の展示, 貸出を行った。モデル児童図書リスト掲載図書の7割について, 平成29年度に貸し出しの増加を図ることができた。				
平成 30 年 度					
計画	モデル児童図書リストの内容を順次充実を図り, 関係機関(保育園, 小学校, 公民館等)に配付し, 掲載図書を展示, 貸出を行う。また, おはなし会等の催しにおいて掲載図書を紹介し, リストの活用や貸出を促す。				
内 部 評 価					
モデル児童図書を展示し, 貸出を継続して行うとともに, 見直しを行ったモデル児童図書リストの配付を行って, 掲載図書の貸出の増加を図ることができたためA評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・リスト掲載図書の貸出が増加した点は, 選書ならびに紹介方法が評価されたものと考えられ, 高く評価できる。 ・目録も出し続けてほしい。 ・モデル児童図書目録に収められた図書のリストは, とても充実した内容であり, 需要も高い。目録の配布も継続してほしい。 ・今後小中学校の図書室でも総合図書館, 各図書館を検索して図書の貸出しができるシステムを導入してほしい。 					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	新一年生への貸出カードの付与				
事業計画	新一年生のうち図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードを付与することにより、読書の普及等を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議		貸出カードの付与	
平成29年度					
計画	平成29年4月に、生涯学習課が作成する新一年生(約1万4千人)を対象とした推薦図書リストの配布と併せて、貸出カードの作成に関する案内文書を小学校新一年生の保護者に対して配布する。 また、小学校及び中学校の各1校において、試験的に全児童・生徒の保護者を対象とした案内文書を配布する。				
取組状況	平成29年4月に、生涯学習課が作成する新一年生(約1万4千人)を対象とした推薦図書リストの配布と併せて、貸出カードの作成に関する案内文書を小学校新一年生の保護者に対して配布した。(新規登録者数 90人)また、小学校及び中学校の各1校において、試験的に全児童・生徒の保護者を対象とした案内文書を配布した。(新規登録者数 4人)				
平成30年度					
計画	平成29年度の状態を踏まえ、継続して行うか検討し判断する。 また、小学校2, 3年生を対象とした図書館見学, 読書リーダー講座や図書館の達人講座など児童を対象としたイベントの際に貸出カードの作成を促す手法等について検討・実施する。				
内部評価					
新一年生だけでなく試験的に小・中学校各1校の全児童・生徒を対象に、貸出カードの作成に関する案内等を積極的に行ったが、貸出カードは個人情報に元にした申請が必要なことから、申請に至っていないケースが多く十分な効果が得られなかったため、B評価とする。					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・着実に取り組んでいる点は評価できるが、成果が出ていない点が不十分である。 ・貸出カードの所有拡大と貸出経験, 利用経験の増加につながるようイベントや見学会などとも組み合わせながら、工夫した取り組みを期待する。 ・貸出カードの作成が進んでいないので、更なる努力が必要である。 ・子どもの貧困が拡がり、乳児期からのメディア接触も増えてきている現在。子どもが本とつながって成長していくことが年々難しくなっている。セカンドブック事業に取り組む自治体もある中で、この事業は多くの子ども達が本・図書館と繋がる良いきっかけとなるであろう。様々な可能性を探って、事業の進展を図って欲しい。 ・一度だけの取り組みではなく、読み聞かせボランティアに依頼する等、違う方法でのアプローチを試して続けて行ったらよいと思う。 ・目標達成に向けてどのように取り組むのか示してほしい。 					A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	ヤングアダルト層(12歳~18歳)への広報活動の強化				
事業計画	総合図書館内にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書の展示等を実施するとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成29年度					
計画	従来の対応を継続することに加え、他の政令指定都市立図書館の取り組み等を参考に、ヤングアダルト層に対する広報活動を充実する企画を立案し、実施に向けて作業を進める。 また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を、平成29年4月から実施する。				
取組状況	ヤングアダルト向け推薦図書を紹介するリーフレットを中学校や市立高校等に配布するとともに、総合図書館で推薦図書の展示を実施した。また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を実施した。(3高等学校 116冊貸出)				
平成30年度					
計画	従来の対応を継続することに加え、他の政令指定都市立図書館の取り組み等を参考に、ヤングアダルト層に対する広報活動を充実する企画を立案し、実施に向けて作業を進める。 また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を継続する。				
内 部 評 価					
従来の対応を継続することに加え、市立高等学校を対象に貸出する制度を実施したが、広報活動を充実する企画立案までおよばなかったためB評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の希望する本を貸し出すという取り組みを新しく始めた点は高く評価する。内部評価のとおり、次年度は広報や連携、実利用の拡大に資する取り組みに進化させてほしい。 ・中高生の図書館見学を強化する必要がある。 ・多様な取り組みを工夫して続けてほしい。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	読書活動ボランティア講座の強化			
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	準備	初心者向け講座(→絵本の読み聞かせコース)の実施		
	準備	経験者向け講座(→ストーリーテリングコース)の実施		
平成29年度				
計画	平成29年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(初心者向けを名称変更)を、平成29年9月～11月にストーリーテリングコース(経験者向けを名称変更)をそれぞれ実施する。また、平成30年2月に反復練習のためのおさらい会を実施する。 講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布する。			
取組状況	平成29年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(4日間、100名)を実施し、平成29年9月～11月にストーリーテリングコース(4日間、40名)を実施し、併せて延べ540名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。また、昨年に引き続き平成30年2月にストーリーテリングコースのおさらい会(1日間、18名)を実施した。			
平成30年度				
計画	平成30年5月～6月に絵本の読み聞かせコースを、平成30年9月～11月にストーリーテリングコースをそれぞれ実施する。また、平成31年2月に反復練習のためのおさらい会を実施する。 講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。			
内 部 評 価				
計画通りに進捗しているためA評価とする。				A
外 部 評 価				
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館との関係が弱いので強化すべきである。 ・ボランティアに学校でも活動してほしい ・読書活動ボランティアの育成の場は他にあまり多くなく、毎回受講希望者も多い。今後も関係団体と協議しながら、充実した内容を継続してほしい。 				A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの設置				
事業計画	総合図書館内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館への人的・物的支援を行います。 ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 学校図書館支援センターについては、学校指導課と連携して、学校図書館を支援していきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	準備	学校図書館への支援			
		図書の配送			
ホームページ運用					
平成 29 年 度					
計画	学校指導課と連携して、全小中学校の学習支援用図書の利用登録を目標に、平成29年度当初に校長会などでの依頼と利用の周知を行う。「小学生読書リーダー養成講座」については、受講希望者が多いため、開催日程の追加などの対応を行う。				
取組状況	<p>学校訪問について、要請訪問・計画訪問併せて111回の訪問を実施し、市立全小中学校及び特別支援学校への訪問を行うことができた。小学生用の学習支援用図書貸出については、67校から159回の利用があり、5,768冊貸出した(平成28年度:38校,88回,2,566冊)。中学生用の学習支援図書貸出については本年度も6回、260冊に留まった(平成28年度:5回,161冊)。</p> <p>また、市内小学校5・6年生を対象とする「小学生読書リーダー養成講座」については、開催日を1日増やし、3日間開催し、78校から263名(平成28年度:229名)の参加があった。</p>				
平成 30 年 度					
計画	平成29年度までの3か年に実施した学校訪問や相談対応、貸出実績等を基に、今後の取り組みの方向性について検討し、より学校現場の需要にマッチした支援が行えるよう努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、昨年度に引き続き3日間の開催とする。				
内 部 評 価					
小学校向け支援用図書の貸出については約2.2倍と大きく増加している一方で、中学校向けの支援について登録及び貸出とも伸びておらず、更なる周知が必要であるが、概ね計画通りに進捗し、事業の認知と活用が進んでいるためA評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き連携を深めてほしい。 中学校への周知が不足している。 中学校向けの支援について、登録・貸出とも一層の努力が必要である。 福岡市内の学校図書館は、各校、様々な問題を抱えているのが現状である。関連局や各校の図書館担当教諭との丁寧な協議を重ねながら、細やかな支援をお願いしたい。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	図書館外施設でのアジア映画上映事業				
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画の作品を、図書館以外の市の施設で上映し、フィルムの有効化を図るとともに、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成29年度					
計画	事業名称:「こんにちは！ シネラです」 開催日時:平成29年10月29日(日) 会場:城南市民センター				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時……………平成29年10月29日(日) ・会場……………城南市民センター(城南区片江) ・上映作品……………「山嶺の女王クルマンジャン」 ・上映回数……………2回 ・入場者数……………102人/日 ・入場料……………有料(大人:500円, 大学生・高校生:400円, 中学生:小学生:300円) 				
平成30年度					
計画	事業名称:「こんにちは！ シネラです」 開催日時:平成30年12月9日(日) 会場:あじびホール(博多区下川端町)				
内 部 評 価					
計画どおり図書館外での上映を1日に2回開催して、平成28年度と29年度はアンケートを実施した。その結果、シネラ(アジア映画)を遠く感じている市民の方に対して、より身近な市の施設を利用してアジア映画を上映することにより、新たなシネラ観客を開拓するという目的に応じた市民(総合図書館に映画を観に来たことがなかった20%→19.4%)も参加されていて、一定の成果を見た。 参加者の総数については102名(前年度は60名)と、前年度を大きく上回っており、B評価とする。					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に情報が伝わるように広報に力を入れてほしい。 ・図書館外で上映できる機会を増やす努力が求められる。 ・特色があっている ・着実に進められてきていることを評価する。広報など工夫し、一層の充実を期待している。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	広報活動の強化				
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画等のポスターを、1階ショーケース等において展示し、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ポスターの展示				
平成 29 年度					
計画	<p>○平成29年8月16日～27日まで開催する「タイ映画特集」に併せて、タイ映画の貴重な映画ポスターを1階ショーケースに展示する。</p> <p>○平成29年12月6日～22日まで開催する「マレーシア・シンガポール映画特集」に併せて、マレーシア・シンガポール映画の貴重な映画ポスターを1階ショーケースに展示する。</p>				
取組状況	8月16日～27日の「タイ映画特集」、12月6日～22日の「マレーシア・シンガポール映画特集」、それぞれの特集に併せて、それらの国で製作された、映画のポスターやパンフレット等、極めて貴重な収蔵資料を、1階ショーケースに展示した。				
平成 30 年度					
計画	平成30年12月1日～24日まで開催する「インド映画特集」に併せて、当館に収蔵するインド映画の貴重な映画のポスター等を、1階ショーケースに展示する。				
内 部 評 価					
<p>「タイ映画特集」観客数は851人。(1回平均43人)</p> <p>「マレーシア・シンガポール映画」は852人。(1回平均29人)</p> <p>ショーケースに立ち止まって熱心にポスターを鑑賞する人は多く、シネラの周知の広報活動はある程度できたと考えB評価とする。</p>					B
外 部 評 価					
<p>・図書館外やWeb上でのPRが求められる。</p> <p>・貴重なフィルムを所蔵しているこの図書館は、市民の大切な宝であるとも言える。多くの市民に届くよう、広報活動に力を入れてほしい。</p>					A : 2 B : 3 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化				
事業計画	総合図書館ホームページを活用し、インターネットによる情報提供の充実を図ります。 また、保存期間満了の福岡市作成の公文書のうち、歴史的公文書として残す資料の選び出しや関係課との移管協議文書作成など、収集に係る事務手続き及び検索について、システム化を図ります。 ・歴史的公文書目録検索 ・現在マイクロフィルム撮影にて複製保存している歴史的公文書の一部デジタルデータ化 ・公開できる歴史的公文書をデジタルデータにて公開 ・歴史的公文書管理システムの構築 ・公文書検索のシステム化				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	データ化 目録掲載	デジタルデータ化検討		デジタルデータ化	
	システム化 業務分析	協議	システム検討		公開 運用
平成 29 年 度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータのホームページでの公開のため、対象とする資料の選定を行うとともに、ホームページの改修について検討する。 ○引き続き、歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 ○歴史的公文書管理システムの構築、電子決裁文書の移管等について、費用対効果を含めて関係部局と協議検討を行う。 				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○過去の公文書展示で活用した広報写真等のデジタルデータを選定して掲載することとし、ホームページ改修について検討を行った。 ○「福岡市海づり公園ができるまで」をテーマに歴史的公文書の展示を行い、一部資料をデジタルデータ化して展示(PCで閲覧等)するとともに、展示概要のしおりをホームページで公開した。(入場者数計592人) ○歴史的公文書管理システム等について関係部局と協議を行った。 				
平成 30 年 度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、デジタルデータ掲載に向けたホームページの改修について館内で検討を行う。 ○歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 ○引き続き歴史的公文書管理システム等について関係部局と協議検討を行う。 				
内 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的公文書展示の入場者は、昨年度(20周年事業)に比較して減少したものの、デジタルデータ化した資料の展示により、内容充実及び理解促進が図られ、当館の公文書館機能についてアピールできた。 ○デジタルデータ化及びその提供のあり方については、今後も全館的な調査・検討が必要。 ○電子決裁文書の移管等については、関係部局との協議が進んでおらず、引き続き協議を行う必要がある。以上のことから、B評価とする。 					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・コストと手間のかかる大変な作業であるが、ぜひ多くの方の「利用」を意識した取り組みを進めてほしい。 ・現状の「マイクロフィルム化→デジタルデータ化」のステップを守り続けて欲しい。市の公文書のデジタルデータも保存に向けて努力してほしい。 ・着実に取り組みが進められていることを評価する。引き続き協議しながら進めてほしい。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化				
事業計画	福岡の歴史に係わる古文書資料や郷土資料等のデジタルデータを作成し、情報提供の充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 準備		試験撮影		
平成 29 年度					
計画	<p>○平成29年度に収集する古文書資料約2,000点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録23』に掲載する事業と並行して、一部をデジタル撮影する。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料データを、HP上で公開するためのHPの改修について検討する。</p>				
取組状況	<p>○古文書資料2144点を『古文書資料目録23』に掲載した。そのうち、カラー撮影が望ましい資料(色刷りのもので、且つ資料保存上の配慮が必要な資料)を選んで、試験的にデジタルカメラで撮影し、デジタルデータ(JPEG形式)1,601点を作成した。</p> <p>○デジタル化した資料画像をHP上で公開を開始した。</p>				
平成 30 年度					
計画	<p>○平成30年度に収集する古文書資料約2,000点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録24』に掲載する事業と並行して、一部をデジタル撮影する。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料画像を館内に設置した端末で公開する方法を検討するとともに、HP上で公開するためのHPの改修について、さらに検討する。</p>				
内 部 評 価					
デジタルデータ(JPEG形式)1,601点を作成し、データの蓄積を進めた。目録およびデジタル化した資料データをHP上で公開するために必要なHP容量確保のための協議が、HPの許容量や経費増加の問題により進まなかったため、B評価とする。					B
外 部 評 価					
<p>・保存、保管の観点からも重要であるが、「利用」という視点も重視しつつ、予算確保に努めてほしい。</p> <p>・コンピュータのデータ量の増大化の努力が求められる。</p> <p>・公開に必要なHP容量確保のための協議を進めてほしい。</p> <p>・HP上での資料の公開が始まり、着実な取り組みを評価したい。</p> <p>・経費の問題は、毎年の懸案事項であり、なかなか進展しないことを残念に思う。</p>					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

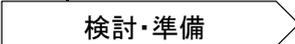
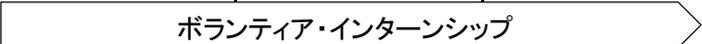
平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	福岡市文学館の利用拡大				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、福岡市文学館サテライトである赤煉瓦文化館との連携を図りながら、事業充実及び広報強化により、文学館全体の利用拡大を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成 29 年 度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展図録を販売していることをPRするため、総合図書館1Fロビーにコーナーを設ける。 ○市内の美術館・博物館等施設の連携イベント「福岡 ミュージアムウィーク」に参加し、文学館の認知度アップを図る。 ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「上野英信」 ・企画展開催期間以外は、常設展示を開設 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○総合図書館1F総合案内に企画展図録を紹介するシートを設置しPRを行った。 ○「福岡 ミュージアムウィーク」に参加して、ギャラリー及び赤煉瓦文化館でギャラリートークを開催し文学館の認知度アップを図った。参加者数16人 ○文学館事業として以下の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「上野英信 闇の声をきざむ」H29.11.10(金)～12.17(日)、入場者4,329人 ・ギャラリー常設展「本を編む」、赤煉瓦文化館常設展「福岡ゆかりの文学者 - 荒津寛子・滝勝子・野田寿子」 ・赤煉瓦夜話、企画展関連講演会・読書講座、共催事業等の文学講座 14回 参加者数733人 				
平成 30 年 度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「矢山 哲治」、第一会場:総合図書館ギャラリー、第二会場:赤煉瓦文化館 ・企画展開催期間以外は、常設展示を開設 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 ○引き続き「福岡 ミュージアムウィーク」に参加し、文学館の認知度アップを図る。 				
内 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ○「福岡ミュージアムウィーク」に参加し、認知度アップが図ることができた。 ○企画展入場者、文学講座参加者、図録販売数は、昨年度より増加した(H28:2,643人・617人・204冊 → H29:4,329人・733人・669冊) ○企画展について新聞社・テレビ局に働きかけ、計8社で22回の紹介記事・番組が掲載・放送された。以上のことからA評価とする。 					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・広報もうまくいっており、評価できる。 ・文学館の出前講座も行ってほしい。 ・「文学館」がサテライトとは知らなかった。広報に抜かりはなかったのか。 ・広報の努力も続けながら、質の高い内容の講座、講演会等を創って行ってほしい。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

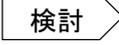
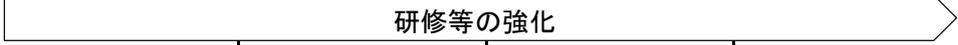
平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法(民間活力の導入)の検討				
事業計画	図書館サービスの向上を図るため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討・準備	公募・選定	総合(建物管理のみ)		
			東(運営)		
平成 29 年 度					
計画	総合図書館、東図書館それぞれの平成29年度指定管理業務についてモニタリングを実施するとともに、平成28年度の業務実施について、選定・評価委員会の意見も聞き、評価を行う。				
取組状況	総合図書館、東図書館それぞれの平成29年度指定管理業務について年4回のモニタリングを実施するとともに、平成28年度の業務実施について、選定・評価委員会の意見を踏まえ、評価を行った。				
平成 30 年 度					
計画	総合図書館、東図書館それぞれの平成30年度指定管理業務についてモニタリングを実施するとともに、平成29年度の業務実施について、選定・評価委員会の意見も聞き、評価を行う。				
内 部 評 価					
総合図書館、東図書館それぞれの指定管理業務の実施において、改善指導を行った事例はなく、良好に実施された。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き利用者視点に基づいた運営が進められるよう、多くの工夫やアイデアを引き出すようなモニタリングや評価を行ってほしい。 指定管理者選定・評価委員会が出した結果が良好なら先に進めることができる。 指定管理者制度の導入については、全国的にも評価が分かれているところであり、丁寧な検証と検討をお願いしたい。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	<p>図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため、図書館ボランティアとの共働を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ボランティアの養成 ・学生のインターンシップの導入 				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
					
平成29年度					
計画	ボランティア活動に必要な研修を実施するとともに、インターンシップについては、引き続き、福岡市インターンシップ研修生(市人事部が窓口)の受け入れを行う。				
取組状況	書架整理や図書資料の修繕等を行うボランティア23人の新規受け入れを行った。 また、福岡市インターンシップ研修生1名の受け入れを行った。				
平成30年度					
計画	新規ボランティアの受け入れ及び福岡市インターンシップ研修生の受け入れも継続して行う。				
内 部 評 価					
予定どおり実施しているためA評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れ拡充を検討してほしい。 ・ボランティアの人数の少なさと、ボランティアの活動範囲の狭さが問題である。 ・中高生の職場体験とインターンシップに力を入れるべきである。 ・延べ人数が多いので安心した。 ・主体的で充実した活動の場となるよう丁寧な取り組みを続けて欲しい。 ・広報にもう少し工夫をお願いしたい。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。 併せて、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施していくことで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	 検討	 研修等の強化			
平成 29 年 度					
計画	全体研修については、利用者サービスの向上を目的に、福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、高齢者問題や子育て等の市民生活に密着したテーマに関する研修を実施する。また、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
取組状況	全体研修については、接遇・クレームや業務改善等の職員の資質を高める研修の実施や、避難訓練等の防災研修など6回実施した。 専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣(延59人)するとともに、子育て支援や地域福祉等の現代的課題について、保健所等による分館への出前研修(実施分館数:3館 26名参加)を実施した。 また、著作権や資料保存等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得に努めた。(実施分館数:5館 11名受講)				
平成 30 年 度					
計画	全体研修については、利用者サービスの向上を目的に、福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、高齢者問題や子育て等の市民生活に密着したテーマに関する研修を引き続き実施する。また、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
内 部 評 価					
予定どおり実施しているためA評価とする。					A
外 部 評 価					
・引き続きレベルの高い図書館運営やレファレンスが行えるように、人材育成を重視してほしい。 ・専門知識の向上に対する育成に欠ける。 ・全体研修、専門研修ともに質の高い内容を継続してほしい。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場の有料化など、既存施設の有効活用を図ることで、財源確保につながる取り組みを進めます。 また、広告収入やスポンサー制度、寄付などによる財源の確保に努めます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成29年度					
計画	ホームページや広報紙の広告を継続して獲得するとともに、駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていく。 雑誌スポンサー制度については、他の図書館の状況などを注視しながら引き続き検討する。				
取組状況	図書館ホームページのバナー広告や、広報紙製作に必要な広告を計画どおり獲得した他、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放することで年間で約570万円の収入を確保するとともに、「ふくおか応援寄付」制度についてホームページや図書館本館、分館でのポスター掲示やパンフレットの配布等によりPRを行い、図書購入のための寄付金19万円をいただいた。 雑誌スポンサー制度については、事業者ヒアリングを行い、検討の結果、継続性等の観点から当面の間見送ることとしたが、その他の財源確保については引き続き検討を進めた。				
平成30年度					
計画	ホームページや広報紙の広告を継続して獲得するとともに、駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていく。 また、その他財源確保における手法等について、引き続き検討を進める。				
内部評価					
ほぼ計画どおり、財源確保につながる取り組みを進め、各収入の合計は前年度よりも約20万円上回ったためA評価とする。					A
外部評価					
・自主財源の確保による事業継続は非常に重要であり、利用目的を定めた財源確保の継続的な取り組みを期待する。 ・さらなる計画の進展を求める。 ・他都市の方法なども調査しながら、様々な可能性を探って、財源確保に取り組んでほしい。					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成29年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	情報発信の推進				
事業計画	子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページを目指し、充実を図ります。 また、積極的な情報発信としてRSS機能の追加やメールマガジンの配信等を実施し、図書館から積極的な情報発信を行い、図書館利用が少ない層への利用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成29年度					
計画	総合図書館ホームページをより見やすく、利用しやすいものになるよう改善を進めていく。 メールマガジン及び各種ソーシャルメディアの登録者数増に向けて取り組んでいく。				
取組状況	平成29年9月にホームページをリニューアルし、レイアウトやアイコン(ボタン)を整理するなど、見やすさや使いやすさを改善した。また、月に1回メールマガジンを配信している。 媒体ごとの登録者増加率(前年度比)は、メールマガジン:93%増(148件→285件)、フェイスブック:81%増(82件→148件)、ツイッター:108%増(120件→249件)、LINE:161%増(790件→2061件)となっている。				
平成30年度					
計画	メールマガジンの配信及びSNSでの情報発信を継続して行う。				
内 部 評 価					
ホームページの改善を行い、メールマガジン及びSNSの登録者も伸びているため、A評価とする。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用という新しい取り組みを着実に進めている点は高く評価できるが、更なる登録者の拡大を期待する。 ・HPに情報を探するためのリンク集が欠けている。 ・積極的に広報活動に取り組み、内容の充実、利用しやすさなども工夫して展開してほしい。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0